

氏名	安 達 政 恭
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3727号
学位授与の日付	平成14年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Reinfection rate following effective therapy against <i>Helicobacter pylori</i> infection in japan (日本においてヘリコバクター・ピロリ感染に対して効果的治療を行なった後に起こる再感染率)
論文審査委員	教授 山田 雅夫 教授 吉良 尚平 教授 小出 典男

学位論文内容の要旨

先進国において*H. pylori*除菌後の再感染率は低いが発展途上国における再感染率には様々な報告がある。この研究では*H. pylori*感染率が高い日本における再感染率を調べた。

除菌に成功した337人の患者を年一回の内視鏡と尿素呼気試験で追跡調査した。そして*H. pylori*が再陽性化した患者の除菌前と再陽性化後の*H. pylori*菌株をRAPD法で比較検討した。

除菌後1年目に4人(1.2%)、2年目に2人(1.5%)再陽性化を認めた。6人中4人の患者の除菌前と再陽性化後の菌株をRAPD法により解析した結果、2人(いずれも1年目に再陽性化)の菌株は同一で、残る2人(1人は1年目、もう1人は2年目に再陽性化)の菌株は異なるものであった。菌株が同一であった2人を再燃と考えると真の再感染率は年率0.8%未満と考えられた。

よって*H. pylori*感染率の高い日本における除菌後の再感染率は低いと結論づけられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、我が国におけるヘリコバクター・ピロリ感染に対して効果的治療を行った後に起こる再陽性化率、再感染率を評価したものである。ヘリコバクター・ピロリ感染率の高い日本において、除菌後の再感染率は年率0.8%未満と低いという重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。